令和９年度　外国人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市６
柏市立柏高等学校　全日制の課程　普通科

１　選抜資料

⑴調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑵面接	受検者１名・評価者３名の個人面接 日本語（必要に応じて英語） 検査時間：１名１５分
⑶作文	日本語の場合は５００字以上６００字以内、英語の場合は２００語以上３００語以内。受検者が、日本語又は英語を出願時に選択する。 検査時間：５０分
⑷外国人特別措置適用申請書	実施要項（様式７の（１）又は（２））により、入国年月日及びその前後の教育歴等を説明したもの

２　評価項目及び評価基準

⑴調査書

評価項目	評価基準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。
イ　特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述について、総合的に判定する際の参考とする。
ウ　部活動等の記録 特記事項	資格・特技で特に積極的に取り組んだと認められる記述について、総合的に判定する際の参考とする。

⑵面接

３名の評価者が，次の２つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(やや優れている)・c(標準的である) ・d(標準に達していない)の４段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア　志望の動機 高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ　質問に対する応答 身だしなみ・態度	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。（制服・私服問わない） 基本的な面接作法が身に付いている。

⑶作文

２名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(やや優れている)・c(標準的である) ・d(標準に達していない)の４段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア　字数・全体構成	指定された字数に対して過不足が無い。 全体としてのまとまりがある。
イ　文章表現	誤字や脱字がない。文法が正しく用いられている。
ウ　内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

(4) 外国人特別措置適用申請書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

3　選抜方法

中学校の校長から送付された調査書、外国人特別措置適用申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。